

そよがぜ

第27号

令和3年11月15日発行



社会福祉法人 川西福祉会

特別養護老人ホーム 在宅介護支援センター
短期入所生活介護事業所 居宅介護支援事業所
通所介護事業所(地域密着型・通所型サービスA)

～ 基本理念 ～

- ご利用者様の人権とプライバシーを尊重し、「その人らしい生活」が送れるよう支援します。
- ご利用者様お一人おひとりの生活の質を高め、安心・安全・快適に満ちた荘生活の創造を目指します。
- ご利用者様およびご家族様との信頼関係を深め、ご満足いただけるサービスを提供します。
- 地域との交流に努め、地域社会における高齢者福祉サービスの拠点を目指します。



三十年を迎えて

理事長 二井 孝良

皆様におかれましては、常日頃より格別なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お陰様を持ちまして「特別養護老人ホームそよ風の森」は、今年、三十周年の大きな節目を迎えることができました。

これも偏に、町当局はもちろんのこと、町民の皆様や各種団体の方々、そして関係各位のご指導とご支援があつての賜物と、衷心より感謝を申し上げます。

併せて、開設準備段階も含め、これまでご尽力下さった歴代の理事長をはじめ、多くの役職員のご苦勞に対し、深甚なる感謝と敬意を表するものであります。

また、本来であれば、三十年の永きにわたり、きめ細やかなご指導及び力強いご支援ご協力を賜った皆様のご臨席をいただき、三十周年記念式典を大々的に執り行い、感謝と御礼を申し上げるべきところではあります。が、ご案内のとおり、コロナの状況下のため、規模を縮小し、身内のみでの開催となつてしまいましたこと、誠に申し訳なく、慙愧に堪えない次第です。しかしながら、形許りの式典ではありましたが、永年ボランティア活動をいただいている各団体の代表の方にご臨席を賜り、積年の感謝の意を表すことができましたのは、この上ない喜びであり、同時に三十年というひとつの区切りを迎えた安堵を感しております。

ここで、そよ風の森三十年の歩みを簡単に紹介しますと、平成三年七月一日に特養定員五十名、シヨートステイ定員十二名、デイサービスセンター定員二十名、職員数三十一名でスタートいたしました。その後平成六年と平成二十四年にそれぞれ増床し、現在では特養定員百名、シヨートステイ定員二十名、また、デイサービスについては地域密着型定員十八名に変更し、その他にもそよ風サロン定員十名の事業を行っており、職員数も八十四名と、当初の約二・七倍を数えるまでになりました。

最後になりますが、度重なる制度の変更や介護現場での人手不足等、高齢者福祉施設を取り巻く環境は厳しいものがございますが、これらも地域に根差した高齢者介護の拠点として、皆様方のご期待に応えられる施設になれるよう、役職員一丸となつて鋭意職務に邁進してまいりますので、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

川西福祉社会役員

理事長 二井 孝良

理事 西山 晋隆

理事 松田 正子

理事 片倉 良子

理事 栗田 純子

理事 米野 邦宏

監事 渡部 順一

監事 佐藤信二郎

川西福祉社会評議員

伊藤 博

穂保 文助

伊藤 利子

多田 良子

高根 功

長澤 政典

奥山 朱珠

令和2年度 社会福祉法人川西福祉社会決算報告書

(自)令和2年4月1日(至)令和3年3月31日

【貸借対照表】

令和3年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	232,272,083
固定資産	749,160,690
資産の部合計	981,432,773
負債の部	
勘定科目	当年度末
流動負債	21,651,132
固定負債	64,018,571
負債の部合計	85,669,703
純資産の部	
純資産の部合計	895,763,070
負債及び純資産の部合計	981,432,773

【事業活動計算書】

(自)令和2年4月1日(至)令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	本年度決算額
サービス活動収益計	535,973,942
サービス活動費用計	564,548,638
サービス活動増減差額	△ 28,574,696
サービス活動外収益計	25,874,320
サービス活動外費用計	0
サービス活動外増減差額	25,874,320
当期活動増減差額	△ 2,700,376
前期繰越活動増減差額	298,646,828
当期末繰越活動増減差額	296,346,451
その他の積立金取崩額	1,320,000
その他の積立金積立額	12,000,000
次期繰越活動増減差額	285,666,451

そよ風の森開設30周年記念式典

～多くの皆様からの温かいご支援をいただき歩んでまいりました～

令和3年7月1日、施設にて開設30周年記念式典を行いました。式典では、施設内外の環境整備や清掃活動、傾聴活動、車椅子及び食料品等の寄贈など、開設当初より長年にわたりボランティアを賜っている各団体様に、感謝状と記念品を贈呈させていただきました。

合わせて、勤続30年を迎えた職員に対し、永年勤続表彰状の授与も行いました。



理事長 式辞



感謝状受賞者の皆様

(後列左より)
中郡小学校様・置賜農業高等学校様・曹洞宗第3教区寺族会様・
中郡地区更生保護女性会様
(前列左より)
犬川地区ボランティア会様・二井理事長・そよ風の森協力会様



川西福祉会役員・評議員



勤続30年職員表彰

謝 辞

本日は、そよ風の森30周年記念式典にて、勤続30年職員表彰をいただきありがとうございます。

私たちがこれまで勤務できたのも、ひとえにご利用者様とご家族様、町民及び地域の皆様、理事長並びに法人役員・評議員の皆様、そしてそよ風の森に関わりのありました全ての皆様のお力添えがあればこそと感謝しております。

私個人としては、福祉とは畑違いの製造業からの転職で不安もありましたが、諸先輩方のご指導と、同期の方はじめ同僚の皆様の協力で、何とかやって来れたと思います。

今、振り返ればあっという間の30年ですが、たくさんご利用者様との出会いと別れがありました。その中でご利用者様の笑顔とご利用者様から掛けていただいた「ありがとう」の言葉が何より仕事の糧となっています。

今は施設の介護支援専門員として仕事に携わっていますが、ご利用者様に「そよ風の森に来て良かった」と思っただけのよう、また、そよ風の森で健康を維持して自分らしく生活していただけるように、日々精進して参ります。今後ともご指導宜しくお願い致します。

令和3年7月1日 勤続30年職員代表 淀野 千博 (記念式典にて)



特養 & ショートステイ 1日の過ごし方をご



特
養



起 床



朝食・口腔ケア



朝の体操



入浴・ティータイム



趣味活動



シ
ョ
ー
ト
ス
テ
イ



起 床



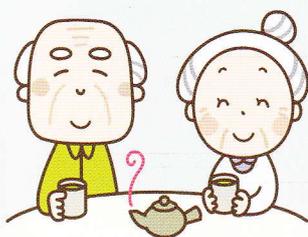
朝食・口腔ケア・自由時間



入所・バイタルチェック



ティータイム・余暇活動



1月

新年会・小正月

2月

節分

3月

ひな祭り

4月

お花見

5月

園芸

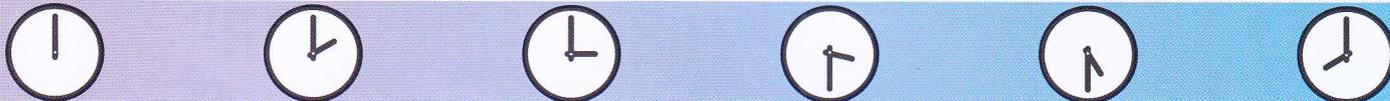
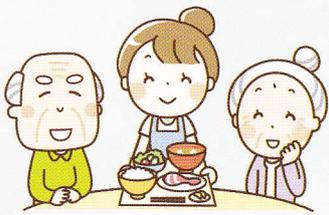
6月

輪投げ大会

年
間
行
事



紹介します



昼食・口腔ケア

余暇活動

入浴・ティータイム

リハビリ

夕食・口腔ケア

就寝



歩行の練習がんばってるよ～！
梅酢づくりもおしぼりたたみも
指先をつかったリハビリです。



手作りの
さくらもち
うめごど



空体操・昼食

体操

入浴・ティータイム

退所

夕食・口腔ケア

就寝



7月

8月

9月

10月

11月

12月

開所記念

納涼祭

敬老会

レク大会

文化祭

クリスマス会





おはようございます！



レクリエーション
職員手作りです

デイサービス

趣味活動の一例
来年の干支をちぎり絵！



食後の一休みはこんな感じ



そよ風自慢の大浴場

デイサービス	9:50	10:40	11:30	12:30	13:30	15:00	16:10
	到着						出発
	体温測定 血圧測定 お茶・談話 	嚥下体操 軽運動 ゲームなど 	昼食 口腔ケア	休養 午睡 	入浴 (趣味活動) 	お茶会 談話など 	

サロン	10:30	11:00	12:00	12:30	13:30	14:45	15:30
	到着						出発
	体温測定 血圧測定 お茶・談話 	テレビ体操 軽運動 嚥下体操	昼食 	休養 午睡	ゲーム 創作活動など 	お茶会 談話など 	



施設に到着
「足元に気をつけて」



今日の音読は
「吾輩は猫である」
名前はまだない…



感染対策しながら
お茶タイム
会話も心も
弾みます



納涼祭での射的
狙いをさだめて
商品ゲット！

そよ風サロン



皆様お変わりありませんか。再開は延期となっておりますが元気だよの一言を、お気軽にそよ風の森(茶処そよ風)にお電話ください。これからいろんな形を模索して、皆さんとの繋がりを大事にしたいと考えています。

居宅介護支援事業所

いつまでも住み慣れた地域で暮らすため、ご利用者様の意向に沿ったサービスの提供と、総合的なつながりを生かした支援を行います。介護保険制度をご利用の際はぜひご相談ください。

在宅介護支援センター

65歳以上の高齢者の在宅介護や福祉全般に関する相談に応じています。各種サービスが利用できるよう、関係機関との調整を行います。役場に行くことが出来ない場合はご自宅にお伺いします。

森の散歩道



荘長 米野 邦宏

先日、新型コロナウイルスの情報を収集していた折、かつて疫病が流行った際、歴代の天皇は「般若心経」というお経を写経して、疫病の早期収束を願ったという記事を見つけました。いつの時代でも、天皇陛下は国民に寄り添い、そして国民の健康を願って下さるわけで、そのご奇特さに深い感銘を覚えまして、同時に般若心経という根源的な教習に助けを求めるそのお姿に、思わず胸が熱くなりました。

ところで、その般若心経ですが、少しご説明いたしますと、二六二文字という短いお経ではあるものの、仏教のエッセンスがギュッと凝縮されたお経で、命のあるもの・ないもの、あるいは形のあるもの・ないもの(形がないものというのは、気持ち、感情、病氣、現象、行為などを指します)といった、この世に存在する全てのものには実体がなく、変化しながら存在し、やがて消えてなくなってしまうという宇宙の真理・自然の摂理が説かれてあります。そのようなことから、歴代の天皇は、疫病が蔓延した世の中が早く終わり、以前の状態に戻ってほしいという願いを込めて、般若心経を写経されたのではないのでしょうか。

さて、写経には、そのように何かを願うこと以外にも、亡くなった方へのご供養という目的もありますし、また、怒り・妬み・恨みといったネガティブな感情を抑えたり、自然治癒力を高める効果があるとされていますが、最近では、認知症予防にも効果があることがわかってきました。

話は変わりますが、以前そよ風の森のご利用者様に、毎日般若心経を写経されていたSさんという方がいらっしゃいました。しかしながら、一口に「毎日」といっても、実際続けるとなると強い意志や動機が必要のため、入所されて間もなく、Sさんにそのわけを訊ねてみました。すると、先祖代々菩提寺の総代を務められているお家柄で、しかも、Sさん自身も和尚になられたとのこと、どうりで筋金が入っているわけですね。

そんなSさんと忘れられない思い出がありますので、ご紹介させていただきます。

ある日のこと、Sさんが「荘長さんに聞きたいことがある」とスタッフに連れられて私の部屋にやって来られました。日頃、仏教やお経について質問を受けておりましたので、その時も「難しい質問は勘弁してくださいね」と先手を打ち、お迎えをいたしました。これが難問中の難問で、数日悩むことに…。といいますのも、その質問というのが、なんでも二十年くらい前、テレビの対談番組で、ある高僧さまが、対談中に出示された湯飲み茶碗を手に取り「これにも命があるんです

よ」とおっしゃったそうで、聞き手のアナウンサーがその意味を訊ねたところ「自分で考えなさい」と答えを教えてくれなかったそうでありました。Sさんとしても答えが気になってしかたなく、以来二十年間考え続けているものの一向にわからないため、私にその答えを教えてくださいというわけです。はてさて、和尚といえどもこちらは元より浅学非才の身、一般人ながら仏教に造詣のあるSさんが二十年間考えてもわからないことがそう簡単にわかるはずがありません。はじめは「仏作って魂入れず的な、作者が丹精を込めて作ったという意味なのかも思いましたが、テレビに出るくらいの高僧さまがそんな安直な発言をされると思えず、とりあえずしばらく預からせていただくことにしました。とはいっても、案の定なかなか答えが見いだせず、何日か悶々とした日々を過ごしたのですが、とある早朝、いつものように本堂で般若心経を読んでいた時に「もしかしたらこのことかな？」と一つひらめくものがありました。自信はなかったのですが、出勤後、いの一歩にSさんのお部屋を訪ね、私なりの見解をお話したところ「あ、それだ、それに違いない! 荘長さん、ありがどう!!」と私の手を握って喜んでくださいました。

では、肝心の推論ですが、先述した般若心経の「全てのものは変化をし、やがて消えてなくなってしまう」という考え方を仏教では「空」といいます。すなわち、人間も湯飲み茶碗も大宇宙の法則の下では共に「空」であり、したがって立場は同じなわけです。ということで、高僧さまはそのことを「命」という言葉で表現されたのではないのでしょうか。

さて、今号は開設三十周年記念号として上梓いたしました。この三十年間、二回の増築や介護保険の導入など実に様々なことがあり、その一つひとつがそよ風の森の歴史にほかなりませんが、今改めて思うことは、Sさんとのエピソードのように、ご利用者様と我々職員が共に過ごした時間や、毎日の何気ない日常の積み重ねもそよ風の森の大切な歴史であり、また、その一緒に紡いだ時間を通して私たち職員はたくさん学ぶことができ、そして成長させていただきましたが、そのことは取りも直さず我々の財産であり、誇りであるということです。

そのようなわけで、多くの皆様のお支えがあつて三十年の節目を迎えることができましたが、現状に甘んじることなく、これまで以上に研鑽の上積みを図り、サービスの向上を目指すとともに、これからもご利用者様と歩んでいく時間を施設の宝物と捉え、そよ風の森はまた新しい歴史を刻んでまいります。

新任職員紹介

ご利用者様の笑顔のために頑張ります!!



看護師
高橋 泰章



介護員
安部 幸恵



介護員
加藤賢太郎



介護員
鈴木江梨花



介護員
高橋 遥菜



介護アシスタント
遠藤 彩華



介護員
古嶋夕起子



介護員
關川 真実



介護員
本間 大空



介護員
菅原 博喜



介護員
五十嵐晴美



食べ物と栄養

エネルギー
218kcal

たんぱく質
12.6g

脂質
12.4g

塩分
1.2g

ニラと肉団子のスープ(3人前)

豚ひき肉	150g
長葱(みじん切り)	5cm
卵	1/2個
A すりおろし生姜	大さじ1/2
中華だし	小さじ1/2
塩、コショウ	少々
葛切り	30g
(マロニーや春雨で代用可)	
ニラ	100g
しいたけ	3個
えのきたけ	1/2パック
水	1000cc
B 中華だし	大さじ1と1/2
酒	大さじ2
醤油	小さじ2
塩、コショウ	少々
ごま油	小さじ2



豚肉-ビタミンB1

糖質をエネルギーに変換する働きがあり、脳や身体の疲労回復をサポートします。

ニラ-アリシン

強い殺菌効果、抗酸化作用があり、免疫力を高めて風邪を予防する効果があると言われていいます。ビタミンB1の吸収率を高める働きがあります。

〈作り方〉

- ①葛切りは固めに下茹でしておく。ニラは5cmの長さに、椎茸は4等分に切る。
えのきたけはいしづきを切り落として食べやすい大きさにほぐす。
- ②豚ひき肉にAを加えてよく練り、直径3cmほどの団子にする。
- ③鍋に水を入れて火にかけ、沸騰したら②を入れてアクを取りながら3分ほど煮る。
- ④Bの調味を加え、①の葛切りと野菜を入れひと煮立ちする。
- ⑤最後にごま油を回しかけ、器に盛りつける。

管理栄養士 鈴木

防災訓練

大切な命を守るべく



いつ起きるかもしれない自然災害。いざ発生した時にも迅速に対応できるよう、日々の訓練を真剣に取り組んでおります。

医務室だより ヒートショックとは

1. ヒートショックとは？

住環境における急激な温度変化によって血圧が乱高下したり、脈拍が変動することで、失神・心筋梗塞・脳卒中などを引き起こし、身体へ悪い影響を及ぼしてしまうことを言います。

2. 原因

冬場に暖房のきいた部屋から寒い脱衣所で服を脱ぐことによって血管が収縮し血圧が上がりますが、入浴することで血管が広がり血圧が下がります。この血圧の急激な動きに血管が耐えられなくなり、入浴中の場合、意識喪失し溺れてしまうこともあり、大変危険です。

3. 予防

脱衣所や浴室を温めて温度差をなくすようにしましょう。入浴前にシャワーを出したり、浴槽の蓋を開けたり、風呂場の温度を上げてから入浴することで予防に繋がります。



◆発行責任者 米野邦宏
◆印刷 (有)キョウドウ印刷

米沢市万世町桑山4417
☎03-3811-0041
FAX 03-3811-0043



編集委員
大和田美由希
中村真由美
小野恵
淀野千博
齋藤美子
齋藤美子
勝見清美
横見清美
鈴木清美
竹田泰里

(大和田記)

今回の広報「そよかぜ」はいかがでしたでしょうか。そよ風の森が誕生して三十年の月日が経ちました。これまでそよ風の森に対してたくさんのご支援・ご協力いただきました地域の皆様、そよ風の森を立ち上げ、築き上げて下さった諸先輩方、そして数ある介護施設の中から当法人のサービスをご利用いただいたり、心から感謝申し上げます。これからも地域の皆様が必要とされる施設であり、今日これからの日々を精進してまいります。今後ともそよ風の森をどうぞ、宜しくお願い致します。

あしがき